

## 2024 年度 看護職員認知症対応力向上研修

## 1. 目的

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。

## 2. カリキュラムのねらいと到達目標

I 認知症に関する知識	ねらい	認知症患者の人の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴等の基本知識を習得する
	到達目標	1. 病院における認知症の人の現状や課題を理解し、修了後の役割を理解する 2. 実践対応力の前提となる認知症の原因疾患の主な症状や特徴を理解する 3. 認知症の人を支える施策・制度及び社会資源等を理解する
II 実践対応力	ねらい	認知症の人を理解し、より実践的な対応力（アセスメント、看護技術、院内外の連携等）を習得する
	到達目標	1. 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する 2. 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応（アセスメント、看護技術、環境調整等）を行うことができる 3. 病棟等における実践的な対応（チーム対応、院内外の連携、介護支援等）を行うことができる
III 体制構築・人材育成	ねらい	病棟等における認知症ケア体制（院内・地域）の構築及びスタッフ育成・教育等の知識と技術を習得する
	到達目標	1. 病院・病棟の課題を把握し、体制等の実情に応じて、病院・病棟や地域単位で認知症ケアに取り組む体制の構築を考慮することができる 2. 自施設において看護職員向けの研修を企画・実施し、継続学習を含むスタッフ育成計画を立てることができる

## 3. 講師

- 1) 田中 晋 三島病院認知症疾患医療センター副センター長 日本認知症学会専門医
- 2) 竹内 真奈美 厚生連上越総合病院 老人看護専門看護師
- 3) 小林 真由美 県立坂町病院 認知症看護認定看護師
- 4) 栗和田 直樹 厚生連長岡中央総合病院 認知症看護認定看護師
- 5) 古川 望 新潟南病院 認知症看護認定看護師
- 6) 鈴木 香織 信楽園病院 看護副部長

## 4. 研修日程

1 日目：2024 年 8 月 19 日(月) 9：30～16：40

	時間	構成	時間	研修内容	担当(予定)	
1 日 目	9:30 ～ 10:00	I 認知症に関する知識 1-1) 意義と役割	30分	○研修の意義や修了者の役割など整理 ④研修の目的・意義 ⑤一般病院等での認知症の現状と課題 ⑥病院及び看護師の役割	たけうちまなみ 竹内真奈美	
			5分	休憩		
	10:05 ～ 12:05	I 認知症に関する知識 1-2) 認知症の病態論	120分	○実践対応力の前提となる認知症の医学的な知識を整理 ④認知症の原因疾患の特徴・病態 ⑤認知機能障害と BPSD ⑥認知症と鑑別すべき他の疾患 ⑦せん妄の特徴や症状 ⑧認知症の診断と治療(薬物療法と非薬物的対応) ⑨若年性認知症の特徴 ⑩認知症の重度化予防	たなか しん 田中 晋	
	12:05～13:05 昼食(休憩 60分)					
	13:05 ～ 13:35	I 認知症に関する知識 1-3) 施策・社会資源等	30分	○施策動向や社会資源を整理 ④共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ⑤認知症施策	たけうちまなみ 竹内真奈美	
			5分	休憩		
	13:40 ～ 16:40	II 認知症看護の実践対応力(演習含む)	180分	○看護対応の基本的な考え方として「認知症の人の理解」を実践対応力の前に整理 ①認知症の人の行動等の理解 ②認知症の人に対する看護の基本原則(パーソン・センタード・ケア) ③認知症の人とのコミュニケーションの基本 ○对患者(1対1)の場面を想定した基本的な看護・対応を症状や状態別に整理(認知機能障害、BPSD、せん妄等) ①アセスメントのポイント ②認知機能障害への対応 ③BPSDの要因・症状と対応 ④身体管理・症状経過を踏まえた対応 ⑤せん妄への対応 ⑥退院支援	くりわだなおき 栗和田直樹  ふるかわ のぞみ 古川 望	

2日目：2024年8月29日(木) 9:30~16:20

	時間	構成	時間	研修内容	担当	
2 日 目	9:30 ～ 10:45	Ⅱ 認知症看護 の実践対応力 (演習含む)	75分	○病態や症状を踏まえた BPSD やせん妄の事例に ついて具体的な事例検討 (要因の検討とケアについて) 事例㉓ BPSD 対応の事例 事例㉔ せん妄対応の事例	くりわ だなおき 栗和田直樹  ふるかわ のぞみ 古川 望	
			10分	休憩		
	10:55 ～ 15: 25	Ⅱ 認知症看護 の実践対応力 (演習含む)	210分	○看護チームもしくは院内外の多職種連携による 場面を想定した看護・対応を整理 (多職種連携、意思決定支援、身体拘束、家族支援 等) ①病棟等におけるチームケアの意義 ②多職種連携 ③倫理的課題と意思決定支援・権利擁護 ④身体拘束の原則等 ⑤家族・介護者の支援 ⑥社会資源と地域連携	たけうち まなみ 竹内真奈美  こばやし まゆみ 小林真由美	
	12:00~13:00 昼食(休憩 60分)					
				○身体拘束へのチーム・連携により対応について具 体的な事例検討 (チーム・連携による対応) 事例		
			10分	休憩		
	15:35 ～ 16:20	Ⅲ 体制構築・ 人材育成	45分	○受講者の病院・病棟の課題の把握から、それを解決 するための体制整備・構築を検討する実習中心 ①病院・病棟全体で取り組む重要性 ②体制構築に向けた取組み	こばやし まゆみ 小林真由美	

3日目：2024年9月2日(月) 9:30～16:15

	時間	構成	時間	研修内容	担当
3 日 目	9:30 ～ 12:00	Ⅲ体制構築・ 人材育成 (演習含む)	150分	○受講者の病院・病棟の課題の把握から、それを解決するための体制整備・構築を検討する実習中心  ※ワークシートA(事前課題用) ※ワークシートB(I) ※ワークシートB(II) ※ワークシートC	<small>くりわ だなおき</small> 栗和田直樹
	12:00～13:00 昼食(休憩60分)				
	13:00 ～ 16: 15	Ⅲ体制整備・ 人材育成 (演習含む)	195分	○病院・病棟の体制構築に向けて、指導的役割を担う立場から、スタッフ育成・教育を検討する演習中心 ① スタッフ育成の目標設定  ○病院・病棟の体制構築に向けて、指導的役割を担う立場から、スタッフ育成・教育を検討する演習中心  ※ワークシートD ※ワークシートE	<small>すずき かおり</small> 鈴木 香織  <small>たけうちま なみ</small> 竹内真奈美
16:15	修了証授与				

16:25 アンケート記入